

千代田中学校区放課後児童クラブ統合問題 なぜ利用者や地域の声を聞かないのか



かすみがうら 市議会議員みやじま謙活動報告

つばさ通信

第22号

小学校統合混乱の反省なし

混乱続く千代田中地区

「小学校統合問題で住民を無視してあれほど混乱したのに、まったく反省の色が見えない」議会の中継を傍聴した市民の方から怒りの電話をいただきました。ご承知のとおり、千代田中地区の混乱には長い経緯があります。スタートは志筑小学

かすみがうら市議会第二回定例会は、時間短縮や人数制限などのウィルス感染予防策を講じながら、6月2日から開催されました。最終日の17日、私は千代田中学校区の4小学校統合にともなう放課後児童クラブの在り方について、緊急質問を行いました。小学校の統合は決まったものの、放課後児童クラブも統合するか、あるいは地域の拠点に分散するかなどの議論がないまま、統合・新規建設ありきで進められようとしているからです。

校の建て替え問題です。住民の多くは同じ場所での建て替えを希望していたにも関わらず、誰の都合か、現在の場所に11億円以上もかけて移設されました。さらに統合小学校の場所について、大多数の保護者が千代田中隣接を希望したにも関わらずそれを無視し、志筑小での統合を強行しようとし、統合委員会が紛糾・解散するとういう大混乱に陥りました。その後、坪井市政はこの問題を2年以上も放置。平成28年に開催された地域懇談会でも志筑小案に固執したため市民から大反発を食らい、平成29年にやっと方針転換が表明されたのです。現在、令和4年4月開校に向けて準備が進められていますが、市民の声を聞か

統合でカギツ子増加？

ない行政のために市民は「税金の無駄使い」「統合の大幅な遅れ」という大きなツケを払わされているのです。そして、この小学校統合にともなう浮上してきたのが、放課後児童クラブの問題です。放課後児童クラブには様々な形態があり、学校と同じ場所にあるメリットもあれば、旧小学校などを活用し、地域に近い場所に置くメリットもあります。霞ヶ浦中地区では、学校統合にともなう放課後児童クラブも統合されたのですが、家から遠くなったことでお迎えが困難になり、児童クラブを諦める家庭が増え、結果的にカギツ子が増えたとの指摘もあります。このように、放課後児童クラブをどうするかは、利用者の意向、地域の思い、そして廃校の利活用にも深く関

住民との対話が不可欠

連する問題なのです。にも関わらず、放課後児童クラブの統合について、利用者や地域住民を交えた議論の場も設けず、統合して新しい建物を敷地内に建設しようとしているのです。当然、巨額な費用も必要となります。市は、国の『新・放課後子ども総合プラン』で「放課後児童クラブの新設の80%を小学校内で実施することを目指す」としていることを敷地内統合の理由に挙げていますが、同プランでは、地域住民を交えた運営委員会を設置して協議することや、校舎の空き教室や多目的ルームなどを徹底的に活用することを求めているのであって、「敷地に箱モノを建てろ」とは一行も書かれていません。放課後児童クラブを新学校内に統合・新設するか、志筑小や新治児童館などを活用するか、地域を巻き込んだ議論が必要です。

フードバンク活動にご協力お願いします！

フードバンクとは、賞味期限内で安全に食べられるにも関わらず包装ミスや返品などで廃棄される食品や、ご家庭で余っている食品を集め、困っている人へ無償で届ける活動です。だれでもできる「食の助け合い」にぜひご協力ください。

【寄付していただきたい食品】

2か月以上の賞味期限があり、常温保存できる未開封の食品（缶詰、レトルト食品、乾麺、インスタント食品、白米、お菓子など）※もちろん新規購入品も大歓迎です。

【受付場所】

霞ヶ浦地区：あじさい館入口
千代田地区：千代田ショッピングモール農協そば前
※いずれも営業時間内



みやじま謙はNPO法人フードバンク茨城の会員です

新型コロナウイルス対策・・・国・県の財政支援策では不十分 不況による家計破綻を救って

経済的「コ」ナ被害者のサポートを

大きい経済的ダメージ

コロナウイルス対策に、皆様も日々ご苦労されていることと思います。多くの市民の真剣な取り組みのおかげで、かすみがうら市では今のところ一人も感染者が出ておりません。

しかし、休業や外出自粛に真剣に取り組むほど、経済への悪影響が強くなることを考えれば、かすみがうら市の経済的なダメージは大きいと見るべきです。

企業業績悪化、経営破綻、閉店などのニュースも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

スも多く報道されるようになってきました。雇用関連の統計数値も急激に悪化しています。

なぜ出せないの？ 夏の学校給食

コロナの影響で、今年は夏休みを短縮して授業を行います。問題は給食が出ないという事です。保護者からも「なぜ給食を出してくれないのか」と困惑の声が上がっています。特に共稼ぎやひとり親家庭においては、毎日の弁当作りは大きな負担となります。

学校教育課では、「調理施設に冷房が無い学校があり、さらに食材保管や配膳室の温度管理も難しい」ことを理由に挙げています。しかし、7月22日まで作れてそれ以降は作れないとは理屈に合いません。さらに言えば、プロが管理する給食施設が危ないなら、家庭の弁当はなおさら危ないはず。それは家庭の責任」とするのであれば、学校の責任逃れとの批判も出てきそうです。

私は先輩議員と連名で「緊急申し入れ書」を教育委員会へ提出し、安全に配慮しながら可能な限り給食を提供し、無理なら希望者に仕出し弁当などの手配をするよう要請しました。どうしても給食での食中毒の懸念が払拭できないなら、弁当持参もやめ、午前中で終了という方針転換できないのでしょうか。

熱中症対策より授業優先？ 授業中の水分補給禁止

学校の教室は「コ」ナ対策で窓を開けていて冷房の効きが悪く、マスクで余計に暑くて喉が渇くのに、水筒の飲み物を授業中に飲んじゃいけないんです。登下校時もダメです。子どもの熱中症が心配」

こんな保護者からの訴えがありました。学校教育課に確認すると、「水分補給は休み時間に済ませるのが原則。登下校時の歩き飲みも危ないので」とのこと。熱中症の危険性が叫ばれ、こまめな水分補給が常識となっている昨今、それを学校が禁止しているとは驚きです。

その理由を聞いてみると、「多くの子どもが水を飲みだすと授業にならない」「水がこぼれたら授業が中断する」など、管理者の都合ばかりが目立ちます。

「今後は、手を挙げるなどして許可を得れば水分補給できるように、登下校時も立ち止まって飲めるように指示した」と大山教育長はコメントしていますが、水分補給は原則自由、おしる推奨するのが当たり前だと思うのですが・・・。

明日への思い

6月23日、茨城県議会では「東海第二原発の再稼働の賛否を問う住民投票条例」の本会議採決があり、反対多数で否決されました。誠に残念です。

反対理由は「情報が十分に県民に伝えられていない」「賛否の二択では民意を汲み取れない」「県民投票の日程が不明」など、本質から外れたものばかりです。

30キロ圏内に96万人も抱える過密地帯にある稼働40年の老朽原発。再稼働は県民全体の問題です。継続審査すらせずに否決する県議会に、民意に沿った政治をする気があるのか、はなはだ疑問です。

もし今回の結果から得るものがあるとしたら、自分たちが選んだ議員に私たちの声を聞く姿勢があるかどうか、はつきりしたということです。

千代田と出島は鳥の両翼
心合わせて羽ばたこう！



みやじま謙の「創ろう！かすみがうら市新時代」
ブログ大好評配信中！